

2000年度 システム・ネットワーク化情報交換会（第4回情報化委員会）議事録

司会：南山大学 笹山達成

記録：愛知工業大学 津田朋美，愛知大学 三浦文博

日時：2000年10月19日(木) 10:00～17:00

場所：愛知淑徳大学 8号棟3階コンピュータ実習室7

参加大学：23大学 34名

愛知医科大学、愛知学院大学、愛知学泉大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、愛知大学、朝日大学、岐阜経済大学、岐阜聖徳学園大学、金城学院大学、椋山女学園大学、中京大学、中部学院大学、中部大学、東海学園大学、東海女子大学・東海女子短期大学、豊橋創造大学、名古屋外国語大学、名古屋造形芸術大学、南山大学、日本福祉大学、松阪大学、名城大学

プログラム：

10:00 会場校挨拶 愛知淑徳大学図書館長 梅村敏郎氏

10:10 委員長挨拶 情報化委員会 笹山達成委員長

10:15 システム・ネットワーク化アンケート集計結果発表 三浦文博委員

各大学における、電算化状況やホームページ開設状況、CD-ROM サーバ・電子ジャーナルの導入状況などについて報告がなされた。

研究報告

・文字コード 三浦文博委員

図書館におけるコード問題について、事例および対応について報告した。

・メディアコンバート 鈴木卓美委員

「館灯」のメディアコンバート・WEB 公開について、報告した。

・ホームページ 石川宗臣委員

日本福祉大学附属図書館のホームページについて、事例報告を行った。

11:00 情報交換

最初にアンケート回答の修正が行われた。修正は下記のとおり。

- ・愛知淑徳大学・リプレースの時期を「2003.1」を「2003.10」に変更する。その隣のコメント欄「2000.1 雑誌管理システム稼働予定」の時期を「2001.1」に変更する。
- ・朝日大学・利用中電子ジャーナルタイトルに「Proquest(医学系のみ)」を追加する。電子化コメントの『「AVM(台帳)」(年刊版)の CD-ROM 化、LG: Library Guide(マルチメディア)「図書館案内」の CD-ROM 化、CAL:会計(経理)決算の CD-ROM 化』を削除する。
- ・南山大学・リプレースの時期を「2001.08」から「2002.08」に変更する

愛知医科大学より電子ジャーナルの導入状況について、下記のような質問があった。

(1)利用者教育、広報の事例について

(2)利用者アンケートについて

(3)目録、相互貸借の取り扱いについて

上記(1)(2)に対して、次の大学からコメントがあった。

・愛知淑徳大学・レファレンス係で、文献探索の研修会を実施し、CD-ROM の使い方を指導している。利用者アンケートは実施していない。

・南山大学・図書館利用講習会(初級・中級・上級)を実施し、個人の参加申し込み、ゼミ単位での申し込みを受け付けている。冊子のものだけでなく CD-ROM や電子ジャーナルも紹介し、館内の端末で実習させている。広報については、図書館報の一環で資料紹介を出しており、電子媒体も画面例をあげながら紹介している。

1997 年にアンケートを実施した。CD-ROM 資料の利用については質問しているが、電子ジャーナルについては質問していない。

・愛知工業大学・講師を招いて EnjoyJOIS の講習会を行った。今後は図書館員で講習会を開いていく予定である。

・愛知大学・1997 年にアンケートを実施したが、そのときには電子ジャーナルに関する項目は無かった。電子ジャーナルは学生に解放されておらず、職員が利用している状態である。利用者教育や広報は行っていない。

上記(3)に関して、愛知医科大学では、Proquest の担当者に聞いたところ、「プリントアウトしたものなら良

いのではないか。ただし勧めはしない」という話だった。例えば「冊子体は持っているが、製本に欠号がある場合は ILL で提供して良い」という出版社に関しては提供していくことを検討しているが、どうだろうか？という愛知医科大学からの質問だったが、コメントできる大学がなかったため、午後のプレゼンテーションセミナーで聞いてみることとなった。

名古屋造形芸術大学からは、「次期図書館システム導入予定館で現行メーカーから別のメーカーに変更するところがあれば、差し支えなければ具体的に教えて欲しい」「図書館システム関係の補助金について教えていただきたい。補助金を受けて図書館システムを構築したという図書館の話聞いたが、文部省等に問い合わせたところ、そのようなものは無いと回答があった。」という2点の質問が出た。次期導入システムについては、南山大学からは「CILIOUS から Neo-CILIOUS に移行する予定」、金城学院大学からは「CALIS から ad@CALIS に徐々に切り替える予定」というコメントがあり、メーカーの変更を予定しているという報告はなかった。補助金に関しては、愛知淑徳大学から「図書館システム自体が珍しいときには補助金が出た時期があったが、今は対象外である」とのコメントがあった。

愛知大学の三浦委員からは「アンケートの EJ の設問について、どのような設問がよいか。二次資料は省いた方が良いのかどうか？」との質問があったが、特に意見は出なかった。設問内容について、委員会で検討していくことになった。

12:00 昼食及び愛知淑徳大学図書館見学

司会：岐阜経済大学 高比良幸司委員

13:00 講演「メタデータについて —Dublin Core を中心として—」 図書館情報大学 杉本重雄教授
デジタル図書館について、国内外の構築例や歴史、デジタル図書館の技術及びネットワーク上の情報資源についてのデータ(データのデータ=メタデータ)を記述する規則である Dublin Core についての説明等の講演がなされた。

15:00 プレゼンテーションセミナー1「JSTOR について」 ユサコ株式会社
電子化された学術情報雑誌のバックナンバーを提供する JSTOR についての説明及びデモンストレーションが行われた。
また、「最新号の収録について」、「ILL での利用方法について」、「一部の雑誌のみの契約はできるのか」との質問があり、「最新のものは出版者側で電子ジャーナルとして出されているものと競合しないよう過去のもののみをアーカイブとしている。ただし、今後も出版後一定期間たった後に収録するようにしていく」、「電子メール等での電子的な配送をしてもかまわないと思われる。正式な回答を確認する。」、「一部だけの契約は不可。全ての雑誌購読となる。」との回答がなされた。

15:40 プレゼンテーションセミナー2「Gale Group オンラインコンテンツについて」 丸善株式会社
人物情報データベース“Biography Resource Center”や雑誌記事索引“Expanded Academic ASAP International”について紹介が行われ、人物の検索、人物検索結果からの著作物検索・全文データの表示等のデモンストレーションが行われた。
また、「人名の入力を補助するものはあるのか」、「契約解消後のデータの保障についてどうなるのか」といった質問があり、「前方一致やカスタムサーチ(人種・国籍など)で対応可能である」、「基本データのバックアップ(一部分)を別媒体で納入することは可能である」との回答がなされた。

16:20 プレゼンテーションセミナー3「電子ジャーナルパッケージサービスについて」 株式会社紀伊國屋書店
総合電子ジャーナルパッケージ“Proquest Academic Research Library”についての説明及びデモンストレーションが行われた。
また、「コンソーシアムについての契約はどうなっているのか」といった質問があり、「コンソーシアム契約は複数校(2校以上)で同じパッケージについて同時に契約することで10~15%程度の割引となる。複数契約以外のパッケージについては個別の契約となる」との回答がなされた。

17:00 終了

以上